

平成 30 年度 自己評価結果公表シート

恵愛幼稚園

1. 本園の教育目標

体験や経験の過程を大切にし、人に対する思いやりや忍耐等、社会性や豊かな人間性を育てる。友だちと一緒に自発的な遊びが展開できるような環境作りを行い、自分で考えて行動できる力を育み、リーダーとしての役割を担える様、国際社会に生きる人間教育を目指している。又、興味や関心を持つ事で、学びに向かう力を育みながら小学校教育へスムーズに接続出来る様にする。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

保育の質の向上の為、研修に参加する数を増やす。それを基に園内研修を行う。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
新教育要領を踏まえての保育内容の見直し、再確認	新教育要領の理解を深める為、職員会議で話し合い、意見を出し合って保育内容を考え、指導計画を再構築する。
保育の質の向上の為の園内研修職員会議	新任研修を含め、研修の回数を増やし、保育に生かせる様、職員会議などで、具体的な内容を共有している。又、園長先生を中心として、保育内容、問題提議等、新教育要領に沿って、話し合い、保育内容の充実を計り、チーム保育を目指している。
子育て支援、未就園児の取り組み	心理カウンセラーによる育児相談の日を設ける。又、園側としても心理カウンセラーに助言を受ける等、子供の理解を深め、保育に役立っている。未就園の子どもが幼稚園でリトミックや体操等楽しめる様、「未就園児の日の集い」の日を設けている。又、今年度より、園庭開放も始めた。

評価項目	取組状況
安全清浄点検、避難訓練、危機管理、安全管理について	園内の安全、清浄点検を月2回行う。 危機管理マニュアルに沿って、災害時引受人カードを作成したり、AEDの園内研修、非常食の保管、避難訓練を実施している。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

職員会議を通して、具体的な保育内容の充実に向けて、全職員で意見を出し合い取り組むべき課題に向きあう事で保育の実践に役立てる事が出来た。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
地域との関わり 幼少連携について	中学生の体験学習を受け入れたり、老人施設の慰問、園庭開放等実施しているが、更に地域との関わりを増やして行きたい。 小学校との連携は密にしている。 就学に向けての前向きな意識を子ども一人ひとりが持てる様に保育内容を工夫して行きたい。
情報公開の方法	園だよりで月の予定だけではなく、子ども達の園での様子等も分かり易く伝えられる構成にして、内容を充実させる。
安全管理	不審者情報等、教育委員会や警察からの情報をすぐにメールで知らせているが、更に迅速な対応ができる様、危機管理マニュアルの内容確認を定期的に行う。

6. 学校関係者の評価

- ・園庭が広く、戸外で子ども達が伸び伸びと遊べる
- ・園舎がきれいで清潔感がある
- ・幼稚園に通う様になり、しっかり挨拶が出来るようになった
- ・寝屋川市内に私立幼稚園は数園あるが、恵愛幼稚園は行き届いた世話をしてもらえる
- ・色々な事が経験出来て、年長は当番活動もあり責任感が身に付く

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。